



「ゴールデンウィークに資料館内を電車が走る！ part8」を開催しました

- 期間 平成30年5月3日（木）～6日（日）
- 場所 向日市文化資料館
- 趣旨 鉄道にまつわる向日市の歴史を、古文書や写真、さらに市民が作った昭和35年（1960年）頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型などで紹介しました。町並み模型をNゲージ（150分の1）の鉄道模型と連結して走らせたほかペーパークラフトに色を塗って自分だけの電車や建物を作る体験コーナーや、駅員さんの格好をして記念写真を撮るコーナーも設けました。



入場切符で
切符切り体験



ペーパークラフトで
電車模型作り体験



手作り電車模型の
試走体験



昭和35年（1960年）
頃の国鉄向日町駅と駅前町
並みをNゲージ（150分の1）の鉄道模型と連結し
列車が走る様子を観覧



国鉄時代の駅の助
役さんの帽子をか
ぶって記念撮影

向日町駅の昔の
写真などを展示



※展示解説文一部掲載

< 鉄道と向日町 >

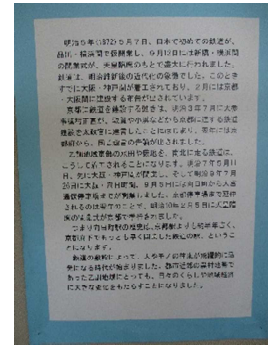
明治5年(1872年)5月7日、日本で初めての鉄道が品川・横浜間で仮開業し、9月12日には新橋・横浜間の開業式が天皇臨席のもとで盛大に行われました。鉄道は明治維新後の近代化の象徴でした。このときすでに大阪・神戸間が着工されており、2月には京都・大阪間に建設する布告が出されています。

京都に鉄道を建設する動きは、明治3年7月に大参事榎村正直が敦賀や小浜などから京都に達する鉄道建設を太政官に建言したことにはじまり、翌年には京都府から同じ趣旨の告諭が出されました。

乙訓地域東部の水田や藪地を南北に走る鉄道は、こうして着工されることとなります。明治7年(1874年)5月11日、先に大阪・神戸間が開業し、そして明治9年(1876年)7月26日に大阪・向日町間、9月5日には向日町駅から大宮通仮停車場までが開業しました。京都停車場まで延伸されるのは翌年のことで、明治10年2月5日に天皇臨席の開業式が京都で挙行されました。

つまり向日町駅の歴史は、京都駅よりも約半年古く、京都府下でもっとも早く開業した鉄道の駅ということになります。

鉄道の敷設によって、人やモノの往来が飛躍的に活発になる時代が始まりました。都市近郊の農村地帯であった乙訓地域にとっても、日々のくらしや地域経済に大きな変化をもたらすことになりました。



< 向日町操車場 >

昭和36年(1961年)、向日町駅に向日町操車場が開設された当初、向日町操車場は「東洋一」と称され、西日本行きの列車がここで編成・整備されました。その頃、操車場をかかえる向日町駅は260人ほどの駅員を擁し、大阪鉄道局管内でも上位に位置する駅でありました。



「国際博物館の日」記念事業

ゴールデンウィークに 資料館内を電車が走る!

part8

平成30年(2018)

5/3・4・5・6

(憲法記念日) (みどりの日) (こどもの日) (日曜日)



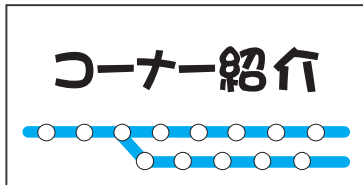
4日間とも午前10時～正午
午後1時～3時

向日市文化資料館
2階研修室

入館無料



鉄道にまつわる向日市の歴史を、古文書や写真、さらに市民が作った昭和35年(1960)頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型などをご紹介します。町並み模型は、Nゲージ(150分の1)の鉄道模型と連結して、電車を走らせませす。なつかしい向日町駅に電車が走る風景を、ぜひご覧ください。



Nゲージの鉄道模型と合体
昭和35年頃の懐かしい風景
**国鉄向日町駅と
駅前町並み模型**

気分は助役さん **撮る**
帽子をかぶって
記念撮影!



ペーパークラフトに
色を塗って自分だけの
**電車や建物を
作ろう!飾ろう!**

鉄道にまつわる
向日市の歴史を再発見
見る
鉄道写真展示
パンフレット、路線図なども



きつが切りの
体験もできるよ!

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

TEL 075-931-1182 / FAX 075-931-1121

<http://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>

